

山行報告書

山行管理部

例会山行 額井岳 4月23日

L 田中、S 塚、島袋、松本(正) 参加 42名 (内一般3名)

近鉄鶴橋 7:55⇒榛原 8:49 バス榛原 9:11⇒天満台西四丁目 9:19~9:50 十八神社
(トイレ、体操) 10:10~11:05 額井岳 (食事) 11:50~戒場山 13:12~戒長寺 (トイレ)
13:50~山辺赤人墓 14:20~天満台東三丁目バス 14:57⇒榛原駅 15:07 (解散)

夏山参加者は別のグループにして3班で出発、額井岳に着いたのは下見の時と変わらない時間で到着、戒場山にもスムーズに到着アレレ、急な下りもあり登り返しもあり時間がかかると思っていたのに…予定より早くバス停に着いた、下見の時はガイドブック、地図、道標にとらめっこ、道間違いをしないように歩くのでちょっと疲れたが例会当日は楽に感じたのは行程がわかっていたからと思うがペースが速いとあまり感じなかった。一般参加の人やベテランの方がちょっとペースが速いと感じてみたいので反省しきりです。 (田中 記)

ウイークデー 滝谷不動の縁日と嶽山 4月28日 L松本(正) 6名

阿部野橋 8:50 集合→ 滝谷不動駅 9:40→ 滝谷不動明王 (参拝) 10:40→
嶽山 11:40 (昼食) →オレンジ園 →汐ノ宮駅 14:30

うらかな春の日差しの中、のんびりと滝谷不動尊の縁日と富田林市の風景を楽しんで来ました。不動尊は開闢1200年、また途中に立ち寄った古刹は推古2年、とにかく古くから開けた街なんだ〜! 富田林は! 再認識です。農家の屋敷街も歴史を感じさせます。オレンジ園で一休み、帰り道で農家の軒下でフキとエンドウを買って帰りました。 (山田(仁) 記)

教育部 北アルプス前穂岳 奥明神沢 5月2~5日 L高桑 参加5名

5/2 JR 森ノ宮駅 (自転車置き場) → 平湯P (駐車場: 車中泊)

22:00 03:00

5/3 平湯P → 上高地 → 岳沢 → テン場設

07:00 07:30 11:00 12:00

5/4 テン場 → 奥明神沢 → 前穂高岳 → テン場

05:00 06:00 10:00 16:00

5/5 テン場撤収 → 上高地 → 平湯 → 帰阪

07:00 09:00 18:00

残雪期アルプスの中でも難易度の高い前穂は緊張感の有る山行でした。二年越し

の訓練でもまだまだ技術・体力不足でした。テント設営、撤収共に時間内に収まる様になりました。今回は行けたと言うより。ほぼ連れて行ってもらった。に近いです。沢山課題が出来ました。木村さん、高桑さんに感謝です。

(矢口 記)

サロン 大和高田の歴史散策（お茶会） 5月3日 CL 森下 参加者5名
計画では大和高田の歴史散策の予定でしたが、悪天候の為無理して行く事もないだろうと計画は中止しました。其の後お茶会でお喋りを楽しみました。大和高田の歴史散策は、7月に8日に計画致します。

(宇野 記)

春山特別山行 三瓶山 5月3日～5日

総L 森山 L 岩佐 SL 岸本 SL 石野(博) 参加26名(散策1名を含む)

5/3(水) 7:10 JR 森ノ宮駅北側駐輪場 → 石見銀山駐車場 … 銀山ロード
ハイク → 国民宿舎さんべ荘 19:30～石見神楽鑑賞

5/4(木) 8:00 さんべ荘 → 8:10 東の原駐車場 8:20 … 9:10 リフト駅 …
9:45 女三瓶山 … 11:10 男三瓶山(昼食) 11:50 … 13:35 子三瓶山
13:50 … 14:35 孫三瓶山 14:40 … 15:20 大平山 15:30 …

16:10 東の原駐車場 → 国民宿舎さんべ荘

5/5(金) 8:00 さんべ荘 → 出雲大社 → 松江城 → 18:00 JR 森ノ宮駅

3日間ともお天気に恵まれた素晴らしい春山となった。初日は高速道路の事故渋滞のため到着が少し遅れたため石見銀山の街並み地区のみの散策となった。夕食時には石見神楽を鑑賞した。迫力のある公演に皆感動した様子だった。中日の三瓶山山行は好天に恵まれ最高の山行日和となった。東の原駐車場からのコースは変化に富んだコースで、素晴らしい眺望を楽しむとともに、急傾斜の岩場はチョッピリ緊張感があり、長丁場ではあったが飽きさせない楽しいコースだった。また行きたい山である。最終日は出雲大社、松江城により日本の歴史に触れた1日となった。帰阪は予定通り6時。良く練られた3日間の山行計画、M山氏に感謝です。

(岩佐記)

ウイークデー山行 高山植物園 5月10日 L杉谷 参加6名
梅田 8:44—六甲駅 9:19 着—バス—六甲ケーブル下 10:00 出—ケーブル山上駅—植物園 11:00 散策—昼食—植物園 13:00 出—山上駅 14:00—油こぶし道下山—ケーブル下 15:15 着—六甲駅 —梅田駅

雨の心配をしながら山上駅から植物園まで山道を歩く。11:00からの職員さんの花のガイドで園内を散策 夏山でよく見るチングルマ コマクサ クロユリ エーデルワイス他にも シャクナゲ ひとりしずか ふたりしずか クマガイ草 山しゃくやく エビネ ユキモチ草などなど丁度見ごろで大満足。これからは くりん草 ササユリ ニッコウキスゲとまだまだいろいろな花が見られそうです。帰りは油こぶしを下山 急坂もあったが無事下山できました。

(杉谷 記)

自然保護部 京都西山古道を歩く (豊中労山交流会) 5月14日

L山田(仁)・松本(正)・石野(博) 参加:きたろう8名・豊中5名
西山天王山 8:51→小倉神社(登り口)9:30→柳谷観音広場 11:30(昼食) →
京青の森 14:00→上の町(15:34)→バス分 → 阪急長岡天神 15:45

豊中労山との合同ハイクで13名の参加者でした。京都西山三山(柳田谷観音・光明寺・吉峰寺)巡礼の道の一部を歩きました。前日の雨とは、打って変わって晴天、暑さも程々で新緑の中、爽やかな山行でした。目的の一つはクリンソウ、前週のウイークデイで「六甲高山植物園」ではクリンソウが咲き始めていました。高地との差異を考え西山はどんなものかと心配でした。九輪の最上部の艶やかな花が見事に咲き誇って一行を歓迎してくれていました。長岡天神への帰り道、農家の作業小屋には地元特産のタケノコが売られていました。

(山田(仁)記)

ターブルドート 堂山・笠間ヶ岳 5月21日

CL堺 SL児玉 参加21名(内一般1名)

JR新快速・米原山行き 7:15 大阪駅発=石山駅 7:59 着~帝産バス 8:25 発=
アルプス登山口 8:52 着(説明・体操)登山開始 9:05—堂山 10:30—
鎧ダム 11:35~12:05(昼食)—迎不動 12:30—豊川道登山口(林道出会い) 12:50—
大谷河原 13:50—笠間ヶ岳 14:50—上関バス停 15:50(解散)

お試し山行の人も含め21名で出発。岩場、ロープ、渡渉とバラエティーに富んだコースで堂山に登りそして下りきるまでは緊張の連続でした。慎重に、声を掛け

合いながら進み、鎧ダムに着いたときはほっとしました。前日から気温が急に上がり、その後の尾根歩きでも水分がかなり必要でした。これからますます水分が必要になってくることを実感しました。最後に笹間ヶ岳の岩をよじ登り記念撮影。そして上関バス停の自動販売機で水分補給し一息つけました。全員無事下山できたことに感謝です。(塚 記)

有志山行 東お多福山・蛇谷北山 4月29日 L上坂 参加8名
阪急芦屋川駅 8:30 ~ 高座の滝 9:15 ~ 東お多福山 11:00 ~
蛇谷北山 12:50 ~ 一軒茶屋 13:40 ~ 雨ヶ峠 15:00 ~
高座の滝 16:55 ~ 阪急芦屋川駅 17:30

訓練山行2回目は、近場の六甲山で長距離に挑戦。今回も雷雨、突風の予報。午前中は良い天気だったが一軒茶屋で予報通り雨、突風そして雷も鳴る。蛇谷北山は余り行かないコースで、良かったと思う。下りのロックガーデンは人もいない時間帯で、ゆっくり注意しながら下りる。

(木村(佐) 記)

有志山行 韓国岳・高千穂峰・開聞岳 5月2~4日 L井 参加3名
5/2(火) えびの高原 12:00→韓国岳登山口 12:40→5 合目 13:50~14:00→韓国岳
14:30~14:50→5 合目 15:20→韓国岳登山口 16:00→えびの高原 16:15
5/3(水) 高千穂河原 8:00→御鉢火口縁 9:00→背門丘 9:30→高千穂峯 10:00~
10:10→背門丘 10:35→御鉢火口縁 10:50~10:55→高千穂河原 11:45
5/4(木) 開聞山麓ふれあい公園 7:40→5 合目 8:45~8:55 仙人洞 10:10→開聞岳
11:05~11:35→仙人洞 12:35→5 合目 13:05→開聞山麓ふれあい公園
14:15

山行一日目硫黄山周辺は、火山ガスによる立入り規制されていて、登山道は迂回路で両側にロープが張られた所を登る。硫黄山はゴ-ゴ-とジェット機の様な音を発し乍ら噴気が上がっていて凄まじいエネルギーである。いつ噴火するかもしれないと怖く感じました。キリシマツツジは蕾で、ハルリンドウとシヨウジョウバカマに癒され五合目より火山の山らしく溶岩の固まった岩を登る。山頂、新燃岳方面は雲の中で展望はなく残念でしたが大浪池が良く見え、又、大きな火口内部が見下ろせ凄い大きさと深さを実感する。

二日目は曇り空で整備された道を登る。登り始めて45分してからリーダーの井さんが体調不良にて登るのを断念し、私にリーダーをするよう言われHさんと登る。千メートル以上になると、赤褐色の地肌砂利と岩道になる。このころより、霧が立ち

こめて視界不良で岩稜沿いに黄色の丸印を頼りに、足元に注意を払い乍ら馬の背に着く。強風と濃霧で視界なし、最悪で吹き飛ばされないよう体をかがめ乍らゆっくり進み背門丘の鳥居で、無事登山出来る事を祈願し頂上へ進む。登頂するが少し休み下山開始する。馬の背付近で霧が一瞬だけ途切れ、御鉢火口と町が見えて嬉しく思いました。ガレ場は転倒しないようゆっくり細心の注意を払い乍ら声かけをする。パトロール中のお巡りさんから気をつけてと声をかけられ、無事に下山。登山は天候に左右される。強風を経験し無事登頂出来たことを感謝する気持ちです。

三日目円錐形の山容が美しい。朝から小雨で上の方は雲がかかっている。登り始めは樹林帯で道幅は狭く足元が悪い。連休なので親子、老若男女で多くの登山者で賑わう。登り優先と言いながら下りは、珠数繋ぎでつかえるので危ない所は下りを先にしたり、お互い譲り合い安全に頂上へ。頂上は雲の中で視界なし。景色は望めず早々に下山開始し、岩場は滑り易いので3点確保で気をつけ乍ら下り、無事下山しほっとする。人気のある山であることが伺えた。楽しい思い出が出来ました。

(島袋 記)